

二宮町第 2 次環境基本計画
後期実施計画（令和 4 年度）の進捗状況について
（案）

令和 5 年 12 月

二 宮 町

目 次

I	二宮町第 2 次環境基本計画について	1
1.	計画期間	1
2.	基本理念	1
II	施策体系について	2
III	評価方法について	2
1.	評価方法	2
IV	基本目標別進捗状況及び評価	3
1.	生物多様性の保全 多様な緑と水による自然の恵みが豊かなまち	3・4
2.	循環型社会の実現 環境にやさしい循環型のまち	5
3.	低炭素社会の形成 地球環境の保全に取り組むまち	6
V	二宮町第 2 次環境基本計画後期実施計画の評価	7・8
VI	令和 4 年度進捗状況等に対する二宮町環境審議会の意見 ＜はじめに＞	9
	＜令和 4 年度全体評価＞	9
	＜基本目標別意見＞	9
1.	生物多様性の保全について	9
2.	循環型社会の実現について	9
3.	低炭素社会の形成について	9
資料	二宮町第 2 次環境基本計画後期実施計画 (令和 4 年度進捗状況一覧)	11

I 二宮町第2次環境基本計画について

1. 計画期間

環境基本計画の計画期間は、平成24年度～平成34年度（令和4年度）とし、本計画に基づく実施計画の期間は次のとおりです。

なお、令和4年度については、後期実施計画の4年目（最終年度）となります。

計画期間区分		対象期間
二宮町第2次 環境基本計画	前期実施計画	平成24年度～平成27年度
	中期実施計画	平成28年度～平成30年度
	後期実施計画	令和元年度～令和4年度

2. 基本理念

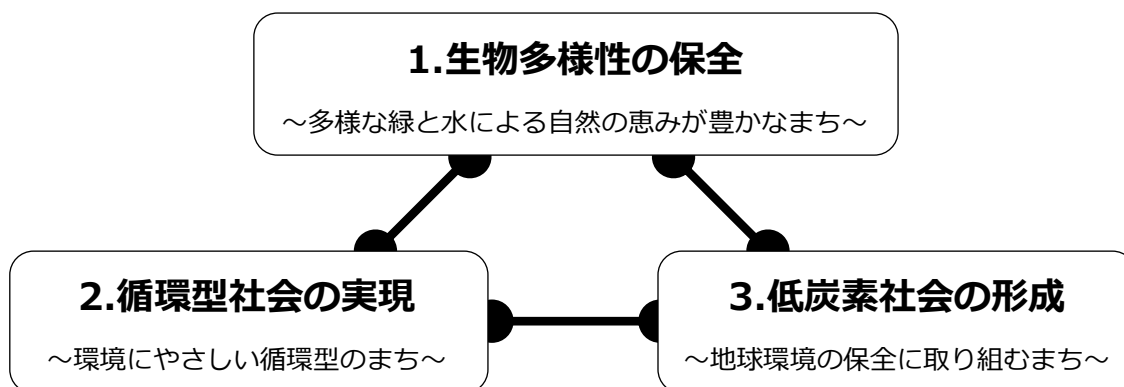
『のこしたい・つたえていきたい・ふるさとを

～里山・里地・里川・里海と暮らすまち にのみや～』

環境基本計画では、「自然からの恩恵だけでなく、自然災害など自然の力も含め、人と自然が共生する環境のまち（ふるさと）をめざし、二宮町が有する豊かな自然環境を大切に育むことを通じて、まちへの愛着を育む」ことを基本理念としています。

この基本理念を実現するため、3つの骨太の柱となる基本目標を設定し、二宮町の自然・社会環境を生かしながら、将来に残したい環境の保全や創出に向けて、町民・事業者・町が一体となって取り組んできました。

基本目標（3つの骨太の柱）



※1～3は、相互に関連しています。

Ⅱ 施策体系について

二宮町第2次環境基本計画後期実施計画（令和元年度～令和4年度）では、環境基本計画で立てた骨太の柱となる3つの目標に、14の基本施策を設定し、それらを実現するため53の事業を設定しました。

基本目標	基本施策	事業数	
1.生物多様性の保全 多様な緑と水による 自然の恵みが豊かなまち	1-1. 吾妻山の保全と魅力の向上	1	21
	1-2. 丘陵地や谷戸などの保全	6	
	1-3. 水と親しめる葛川の再生	6	
	1-4. 二宮海岸の保全と魅力の向上	6	
	1-5. 良好な自然を象徴する動植物の保全	2	
2.循環型社会の実現 環境にやさしい循環型のまち	2-1. リデュースの促進（ごみの発生や排出の抑制）	5	17
	2-2. リユースやリサイクルの促進	3	
	2-3. ごみの適正な処理・処分の推進	5	
	2-4. 不法投棄防止の推進	2	
	2-5. 地産地消の促進	2	
3.低炭素社会の形成 地球環境の保全に取り組むまち	3-1（2） 省資源・省エネルギー活動の促進 自然エネルギーの活用	6	15
	3-3. 緑化や雨水利用などによる環境の保全	3	
	3-4. 環境保全による安全なまちづくり	3	
	3-5. 快適な生活環境の向上	3	
総事業数		53	

Ⅲ 評価方法について

1. 評価方法

後期実施計画は、基本目標ごとに重点事業を設け、重点事業の進捗管理を行うことで、基本目標の効果を把握しやすくしました。

また、各事業の評価方法についても一定の基準で評価できるよう、「達成状況評価」と「事業内容評価」の合計を5段階で評価する方法に変更したことで、それぞれの事業において、一貫した評価を行えるようにしました。

《後期実施計画における評価》

評価指標	
A	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 100%】
B	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 75-99%】
C	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 50-74%】
D	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 25-49%】
E	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 0-24%】

Ⅳ 基本目標別進捗状況及び評価

1. 生物多様性の保全 ～多様な緑と水による自然の恵みが豊かなまち～

「生物多様性の保全」については、里山・里地・里川・里海という多様性に富む豊かな自然を大切に保全し育むとともに、自然と人間が生活の様々な場面で共生することを目指し、事業の推進に取り組みました。

本基本目標の重点事業評価については、次のとおりです。

事業コード	重点事業	評価	
1-2-①	里山再生育成事業	B	84%
1-3-④	葛川水質調査の実施	B	84%
1-4-④	湘南にのみや海岸 530 キャンペーンの実施	－	－

※新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業計画を変更又は中止した事業については、通常時の年度との比較検証が困難であることから、評価の対象外「－」としています。

【里山再生育成事業】

身近な里山の手入れや間伐材の利用を通じたボランティアによる里山体験の促進によって里山の保全・育成を図り、災害による被害抑制につなげることを目的に、「田植え体験学習（2園、58名参加）」を6月17日に、「稲刈り体験学習（3園、77名参加）」を10月20日に、「原木椎茸植菌教室（30名参加）」を3月1日に実施しました。

令和4年度は新型コロナウイルス感染症や天候の影響を受けることなく、予定していたすべての体験教室を実施することができましたが、参加人数が目標値に届かなかったことから、本事業の評価は「B」となりました。

今後の事業継続にあたっては、管理に多大な負担を要する「体験学習用地（田んぼ）」を維持していくため、日頃より田んぼの管理に協力いただいている「里山再生ボランティア」を支援することによる負担軽減や、「里山づくり推進協議会」に新たな団体（構成員）を加えることによる組織体制の強化が必要となることから、事業内容の見直しも含め検討してまいります。

【葛川水質調査の実施】

家庭・事業所等の排水による水質汚濁の未然防止と葛川の環境の把握を目的に、町内の河川6地点において年4回の「水質測定（24検体）」を実施し、その結果をホームページで公開しました。

一色橋での水質検査の結果、4回のうち2回において「BOD（生物化学的酸素要求量）」が環境基準値を超過したことから、本事業の評価は「B」となりました。

一色橋の上流は、下水道整備計画区域外であることから、生活排水の影響等により過去にも環境基準値を超過した経過があるため、今後も定期的な水質測定により河川の水質状況を把握するとともに、合併処理浄化槽設置補助による単独浄化槽からの転換を促進してまいります。

【湘南にのみや海岸 530（ごみゼロ）キャンペーン】

海岸清掃を通じて地域美化活動への気運の高まりを醸成するため、「湘南にのみや海岸 530（ごみゼロ）キャンペーン（489 名参加）」を 5 月 27 日に開催し、285 kg（うち約 6 割がプラスチックごみ）の海岸ごみを回収しました。

令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、開催式を行わない等の対策を講じる等、開催方法を大幅に見直したことで、参加人数に大幅な減少が見られたことから、評価の対象外としました。

今後も必要な感染症対策等を講じつつ、キャンペーンの開催を継続することに加え、海岸でのキャンペーン以外の地域美化活動についても、町民、各関係団体と連携により、町全体での美化推進が図られるよう検討してまいります。

2. 循環型社会の実現 ～環境にやさしい循環型のまち～

「循環型社会の実現」については、ごみの減量化や資源化等を推進するとともに、町内で生産・流通・消費の循環を実現していくことを目指し、事業の推進に取り組みました。

本基本目標の重点事業評価については、次のとおりです。

事業コード	重点事業	評価	
2-3-①	二宮町一般廃棄物処理基本計画の推進	B	75%

【二宮町一般廃棄物処理基本計画の推進】

「二宮町一般廃棄物処理基本計画」に掲げる計画目標を達成することを目的に、「減量化」や「資源化」を推進するための出前授業の実施や各種広報媒体での周知啓発を積極的に実施しました。

「減量化」については、1人1日あたりのごみ総排出量の目標値 798g に対し実績値 790.3g、「最終処分量の削減」については、埋立量の目標値 70t に対し実績値 61t と、計画目標を達成することができましたが、「資源化」については、資源化率の目標値 34.0% に対し実績値 32.7% と、計画目標を達成できなかったことから、本事業の評価は「B」となりました。

近年、資源化率は減少傾向にあることから、資源ごみのさらなる分別の徹底について積極的な周知・啓発を図ってまいります。

3. 低炭素社会の形成 ～地球環境の保全に取り組むまち～

「低炭素社会の形成」については、地球全体における持続可能な社会を実現するための課題となっている二酸化炭素排出量の削減を目指し、省資源・省エネルギー活動の促進や環境保全の啓発に取り組みました。

本基本目標の重点事業評価点数については、次のとおりです。

事業コード	重点事業	評価	
3-1(2)-①	地球温暖化防止運動の推進	－	－

※新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業計画を変更又は中止した事業については、通常時の年度との比較検証が困難であることから、評価の対象外「－」としています。

【地球温暖化防止運動の推進】

温室効果ガスの排出抑制を推進することを目的に、環境活動団体等との連携・協力によるイベントやさまざまな広報媒体を通じた情報提供並びに普及啓発を実施しました。

本事業の目標値は、「温暖化防止行動の実行率（マイエコ 10 宣言で、10 個以上選択した人の中で、「実効している項目」が 5 個以上実践している人の割合）」となっており、ふるさとまつりでの「マイエコ 10 宣言」の回収実績から把握することとしていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、ふるさとまつりが中止となったことから、評価の対象外としました。

指標把握の代替えとして、町内の小中学の生徒児童を対象に実施した「マイエコ 10 宣言」は、今後も環境学習の充実を図る一環として、未来づくり教室とともに継続的に実施してまいります。

※「マイエコ 10 宣言」とは、持続可能な社会の実現を目指し、神奈川県が実施している取り組みの一つで、「私たちの環境行動宣言 かながわエコ 10 トライ」の 16 個の行動宣言の項目から、取り組みの見込みがあることを宣言するもの。

V 二宮町第2次環境基本計画後期実施計画の評価

令和4年度は後期実施計画の最終年度に当たるため、中期実施計画の最終年度の達成率と比較し、計画の進捗状況を整理しました。

※1：後期実施計画から評価方法を3点満点の点数制から達成率に変更したため、中期実施計画との進捗状況を比較しやすくするため、中期実施計画の点数を達成率に変換（点数×100/3）したものとっております。

※2：後期実施計画は新型コロナウイルス感染症の影響等により評価の対象外とした事業は達成率に含めておりません。後期実施計画の事業数欄の（ ）書き内の数値は「後期実施計画の実施事業数（評価対象外事業も含めた事業数）」となっております。

※3：基本目標のうち「4. 計画の推進方策」は、後期実施計画の策定時に評価方法の明確化に伴い基本目標から除外したため、中期実施計画のみの表記となっております。

基本目標	中期実施計画 最終年度（H30）		後期実施計画 最終年度（R04）		達成率の 変動
	達成率	事業数	達成率	事業数	
1.生物多様性の保全	77.3%	21	90.0%	19（21）	+12.7%pt
2.循環型社会の実現	81.3%	17	88.5%	14（17）	+7.2%pt
3.低炭素社会の形成	81.0%	16	93.3%	13（15）	+12.3%pt
4.計画の推進方策	90.0%	10	－	－	－
全体平均達成率	82.4%	64	90.8%	46（53）	+8.4%pt

1. 生物多様性の保全について

「下水道の普及促進（1-3-②）」等の事業で評価が上がったことや、後期実施計画から新たに加わった「水資源に関する教育（1-3-⑥）」の評価が高かったことにより、中期実施計画の最終年度から12.7%ptの増加となり、3つの基本目標の中で最も大きく評価が増加しました。

2. 循環型社会の実現について

「ごみ減量化推進事業（2-1-①）」や「マイバック・マイボトル等の利用促進（2-1-②）」の事業で評価が上がった反面、「生ごみ処理機の導入促進（2-2-③）」や「不法投棄防止事業（2-4-①）」の事業で評価が下がったことにより、中期実施計画の最終年度から7.2%ptの増加にとどまりました。

3. 低炭素社会の形成について

後期実施計画から新たに加わった「地球温暖化防止に関する教育（3-1(2)-⑥）」や「花いっぱい運動の推進（3-3-③）」の評価が高かったことや、評価の伸びが低調にとどまった「地域美化活動の推進（3-5-①）」等の事業が評価の対象外になったことにより、中期実施計画の最終年度から 12.3%pt の増加となりました。

4. 二宮町第2次環境基本計画後期実施計画全体について

「2. 循環型社会の実現」に係る事業の一部が停滞していますが、その他の基本目標は、それぞれ課題が残るものの概ね良好な進捗が図れました。

評価の伸びが低調にとどまった事業が評価の対象外になったこともあり、中期実施計画の最終年度から 8.4%pt の増加となりました。

Ⅵ 令和 4 年度進捗状況に対する二宮町環境審議会の意見

(令和 5 年 11 月 6 日)

<はじめに>

二宮町環境審議会では、「二宮町第 2 次環境基本計画後期実施計画」の令和 4 年度における進捗状況について審議し、以下のとおり意見を取りまとめましたので、今後の計画の推進にあたっては、当審議会意見に配慮され、改善に取り組んでください。

<令和 4 年度全体評価>

<基本目標別意見>

1. 生物多様性の保全について

- ①
- ②
- ③

2. 循環型社会の実現について

- ①
- ②
- ③

3. 低炭素社会の形成について

- ①
- ②
- ③